

HOW TO CREATE A SUCCESSFUL MUSIC FESTIVAL

成功する音楽フェスティバルの作り方



日時: 2025 年 **11** 月 **26** 日 (水) 17:30 開場 **18:00** 開始

場所: 沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 一般教育棟 3 階 大講義室

入場無料: 要事前予約(専用フォームより事前のお申し込みをお願いいたします)

<https://forms.gle/6XcQ4aVTgox9B5hX7>



専用フォーム

講師: Seppo Kimanen (セッポ・キマネン)

チェロ奏者、芸術監督、教授 (hc)

音楽フェスティバルを始めるのは難しくありません。しかし、それを成功させ、持続させるには、強いビジョン、さまざまなスキル、そして努力が必要です。この講義では、活気あるフェスティバルを作り上げるために必要な基本要素と、フェスティバルの長期的な存続を脅かす最も一般的な間違いを避ける方法を説明します。

Seppo Kimanen 略歴:

セッポ・キマネンは 1949 年ヘルシンキで生まれ、シベリウス音楽院でチェロを学ぶ。16 歳で当時のチェコスロバキア政府からの給費でプラハ音楽院、17 歳でフランス政府給費のもとパリ音楽院へ留学。その後ドイツのデットモルト音楽院にてアンドレ・ナバラのもとでさらにチェリストとして精進。1969 年ヘルシンキで館野泉のピアノでデビューリサイタル。1971-80 年ピアニスト館野泉とヴァイオリニスト新井淑子と共に「トリオ館野」、そして 1980 年ジャン・シベリウス弦楽四重奏団を結成。ソリスト、室内楽奏者としてアメリカ、アジア、ヨーロッパ諸国 42 の国で活躍。1970 年フィンランドの寒村クフモで、ヴァイオリニスト新井淑子と共に独自の理念で室内楽音楽祭を創設後、世界のクラシック音楽界での室内楽の概念を大きく変え世界的に注目を浴びる。室内楽のメッカとも呼ばれるまで進化させ 2005 年までその総監督を務める。1977-1980 年はヘルシンキフェスティバルの総監督に任命され、その後もフィンランド国内外を問わず数多くの音楽祭を手掛けて来た。2023 年からはヘルシンキ地元のラウッタサーリ音楽祭を創設、次世代の音楽家とともにプロデュース運営に係る。音楽家としての傍ら在イギリスフィンランド文化会館の館長、在日フィンランド大使館の文化参事官も務め、今でも世界中から様々な文化イベントのアドヴァイザー、講演などの要請が後を絶たない。新聞のコラムニストの経験もあり自伝をはじめ数冊の本も出版されている。

キマネンはその功績により、フィンランドはもとより日本、ドイツ、フランスから勲章を授与されている。

助成: 公益財団法人沖縄県立芸術大学芸術振興財団

問合せ先: 塚本研究室 (k-tsukamoto@okigei.ac.jp)